

この「ローカルチャレンジ in ちゅうぶ」では、中部地方環境事務所が担当区域とする7県と市町村における地域に根ざした特色のある環境施策への取り組みを紹介していきます。



愛知県

「第3次愛知県環境基本計画」の策定について

愛知県環境基本計画は、環境保全施策の総合的・計画的な推進を図るため、県環境基本条例に基づき策定するものであり、本県の環境政策の指針となるものです。

地球温暖化の進行や生物多様性の喪失など地球環境問題への対応が緊急性を増し、また、人口減少・超高齢社会の到来やグローバル化の進展など社会経済動向は大きく変化しており、こうした状況変化に対応した環境政策の展開が求められています。

本県は、恵み豊かな自然環境と活力ある都市が近接するという特徴を有し、また、「自然の叡智」をテーマとした愛知万博の開催地でもあります。こうした本県の特色を生かしな

がら、持続可能な循環型社会の形成に向けた取り組みを一層進めるため、本年3月に「第3次愛知県環境基本計画」を策定しました。

この計画では、「自然の叡智に学ぶ持続可能な循環型社会づくり」を目標に掲げ、その実現に向けて「脱温暖化」、「資源循環」、「自然共生」、「安全・安心」、「参加・協働」の5つの社会づくりを進めることとしています。

さらに、大気環境、水環境、廃棄物といった従来の環境行政の分野を越え、まちづくりや産業振興など様々な行政分野が連携して持続可能性の観点を織り込んだ地域づくりを進める「持続可能な地域づくりプログラム」を設定しています。

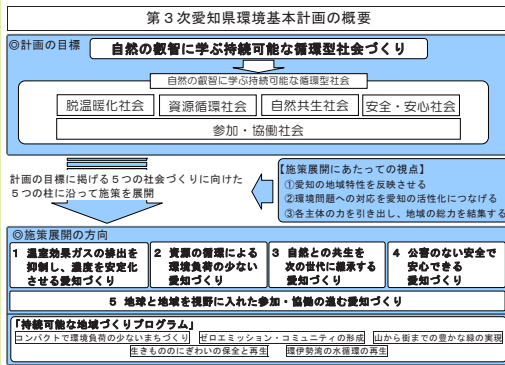


環境学習施設「もりの学舎(まなびや)」

今後は、この計画の下、環境先進県として評価されるにふさわしい地域を目指し、取り組みを進めていきます。

なお、計画の本文・概要版は愛知県ホームページ(<http://www.pref.aichi.jp/0000012635.html>)において閲覧ができます。また、愛知県環境政策課及び各県民生活プラザにおいて配布しています。

愛知県環境部環境政策課 ☎052-954-6210



田原市

うるおいと活力のあるガーデンシティ

愛知県の南端、渥美半島のほぼ全域を市域とする田原市は、風、太陽光、バイオマスなどの地域資源を活用し、環境との共生による豊かで持続する地域「たはらエコ・ガーデンシティ構想」を推進しています。この構想は平成15年に環境共生まちづくりの全国モデルとなったもので、着実に施策を推進してきました。地球温暖化や地域環境負荷の低減、食糧及びエネルギー自給率の向上、CO₂削減などが推進のキーワード(目標)です。

主要プロジェクトの一端を紹介しますと、菜の花エコは、菜の花をシンボルに栽培面積25ha、菜種油の特産品販売、BDF化事業(公用車、農機具、発電機などで使用)、食・農・環境教育を実践し、遊休農地を解消し、循環型社会の形成に取り組んでいます。



遊休農地に栽培した菜の花

昨年、渥美半島菜の花浪漫街道が日本風景街道に登録され、「花が彩る潮騒のエコガーデンロード」として、道を舞台に市民協働の原風景創生、地域活性化策にも着手しました。

廃棄物リサイクルでは、家庭からの一般ごみをPFI方式導入によるリサイクルセンターで炭化し、化石燃料の代替燃料等に有効利用。家畜排せつ物、下水汚泥、剪定草木類などバイオマス資源は、水・土壌環境など環境負荷低減と資源化及びエネルギー化を促進し、バイオマスタウン構想の実現を図ります。

エコ・エネルギー導入では、現在、風力発電立地が21か所・42基(発電出力47,300kW)、太陽光発電設備は、約2,200kW(公共43か所・住宅538件)です。住宅用は持家世帯の3.8%と全国でもトップクラスの設置率。2010年度の導入目標は3,300kWです。



渥美風力発電所

「環境共生」は、田原市総合計画では、基本構想のまちづくりの方針に位置づけており、総合戦略として各施策に反映し、田原市のめざす将来像「うるおいと活力のあるガーデンシティ」の実現に寄与するものです。

田原市環境部エコエネ推進室 ☎0531-23-7401